

こどもフェスティバル ～啓発活動について～

副理事長 長谷川 美智代

この度、長居障がい者スポーツセンターより出演のご依頼をいただき、3月14日に開催された「2021こどもフェスティバル」のイベントで、大阪市手をつなぐ育成会「啓発隊・YO～おこし」のメンバーが、啓発劇の講演を行いました。

参加対象は、障がいのある小学生以下の人とその家族、介助者ということで、当日は、14名程の参加がありました。

今回、障がいのある子どもたちにも楽しんでもらえるように、プログラムの内容も事前に打ち合わせをしながら考えました。

啓発劇として、何度も演じている定番の「ケロケロ王国」は、これまでも小学校への出前講座や大阪市教育センターでの研修等、いろいろな場所で演じており、子どもから大人まで楽しみながら体験してもらえるメインの演目です。

その他の出し物としては、見た目でも楽しんでもらえるように、着ぐるみを着て自分たちで考えた啓発劇を演じようということになり、また、依頼された時に「当事者の方も是非ご参加を。」と仰っていただいたので、会員のお子さん4人に協力してもらいパブリカのダンスも発表することにしました。

今回の啓発劇の内容は、「ちゃんと」とか「ちょっと」とかいう曖昧な言葉がわかりにくいことをいつもなら参加者の皆さんに絵を描いてもらって体験していただくのですが、それを寸劇にしたものです。

ケロケロ王国のケロッピーとケロ子ちゃん、着ぐるみのドラえもんとプーさんが登場して、椅子に座る時の声かけを「ちゃんとして」「しゃきっとして」等の言葉をかけるより「背中をまっすぐ、手はお膝、(絵カードを見せながら) こういうふうに座ってね。」と伝える方がわかりやすいことを実際に演じてみました。

練習回数も少なく、たどたどしい部分はありましたが、参加されたお子さんから、かわいい声で「ドラえもん！」と声をかけてもらい、寸劇も興味をもって見てくれたと思います。

最後に踊ったパブリカも会員のお子さんが上手に踊ってくれ、場を盛りあげてくれました。

私たちの発表の後には、人形劇団クラルテによるイタリアの昔話「ポリチーノのけっこんしき」と日本の民話「かさじぞう」の人形劇鑑賞とスポーツセンター

の指導員さんによるリズム体操があり、参加された方と同様に私たちも楽しませていただきました。

感染症対策を行いながら実施されたイベントでしたが、コロナ禍の中、外出する機会や楽しめる事が少なくなっているお子さんや親御さんにとって、心和む楽しい時間を過ごせたのではないのでしょうか。

我々、「啓発隊・YO～おこし」としましても発表の場を設けていただき、経験を積むことができました。

今後もより良い啓発劇を演じられるように頑張りたいと思います。【大阪市育成会 啓発隊・YO～おこし】



大阪市育成会会員だより

《5月 支部連絡会 の中止について》

・5月度支部連絡会(5/20)は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中止となりました。

《6月 支部連絡会 について》

- ・日 時：6月17日(木) 12:30～
- ・場 所：社会福祉センター 301会議室

注)ただし、新型コロナウイルスの感染拡大の状況により中止の場合は、各支部長様宛にご連絡いたしますので、ご理解ご協力のほどお願いいたします。

活動報告(4月16日から5月15日まで)

活動日	内容
4/28	「グループホームについて」大阪市へ要望書を提出(大阪市役所)
5/6	スポーツフェスタ理事会(WE B)
5/7	「障がい者スポーツ振興にかかる地域団体等の実態調査」実施についての説明(大阪市立社会福祉センター)
5/10	全国手をつなぐ育成会連合会政策センター・権利擁護センター合同会議(WE B)